



① 福井県立坂井高等学校

② 食農科学科農業コース草花班サスティナチーム

③ 福井県坂井市坂井町宮領57-5

④ 絶滅危惧種の保全から見た未来

～アゼオトギリとエチゼンダイモンジソウの保全による持続可能な農業の実現～



【⑤アゼオトギリの移植活動】

⑥ アゼオトギリでは6月に鉢上げをし、その株を自生地である丸岡町の板倉地区で移植活動を行い、株数を確実に増やした。液体肥料の希釀濃度による生育の違いの実験では、1600倍の希釀濃度の液体肥料をやる株の生育が1番良い。ジャンボタニシの忌避効果の実験では、ジャンボタニシの入手ができておらず、実験は進んでいないが、実験方法や目的、実験器具は揃え、予備実験をしている。エチゼンダイモンジソウでは、固体培地への無菌播種で、滅菌が上手くできておらず、多くの試験管でカビが生えていたが、約16株の苗を移植した。去年に発芽した株が試験管の中で枯れていたがその株からも新芽が出ていたため、鉢上げを行い、移植した。